

自由民主党
交通安全対策特別委員会・内閣第一部会・国土交通部会合同会議
令和元年5月16日(木)

警察庁 説明資料

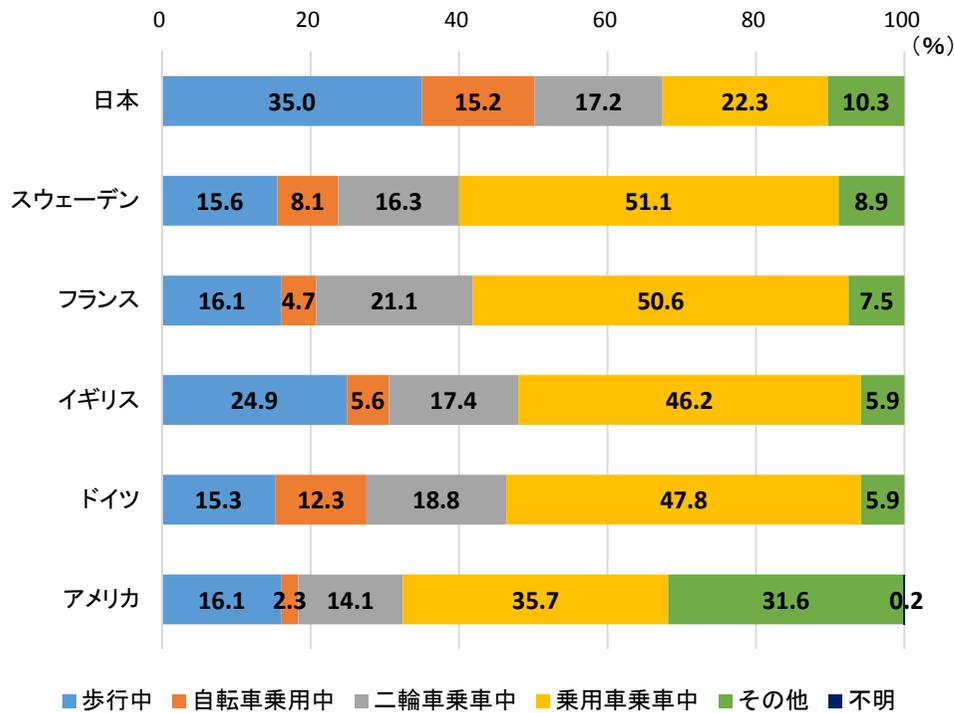
議題1: 子供の交通安全対策について

警察庁 交通局

日本の状態別死者数の特徴及び小学生以下の子供の状態別死者数

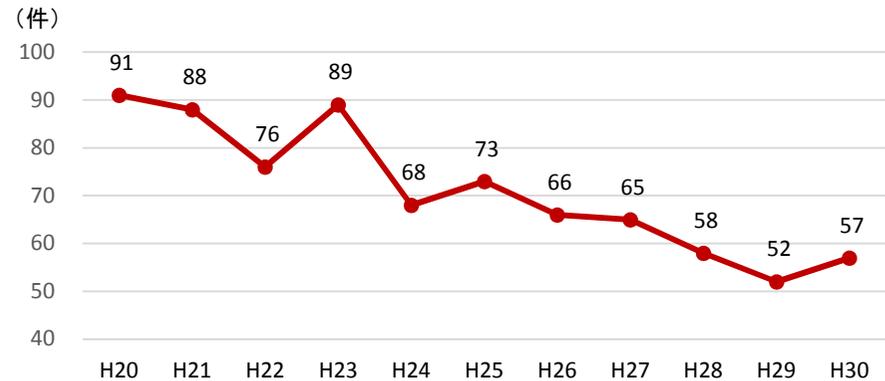
- 状態別で見ると、我が国においては、諸外国と比較して歩行中・自転車乗用中の交通事故死の割合が高い。
- 我が国における小学生以下の子供の交通事故死者数は減少傾向。歩行中の交通事故死の割合が高い。

主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率
(平成28年(2016年))

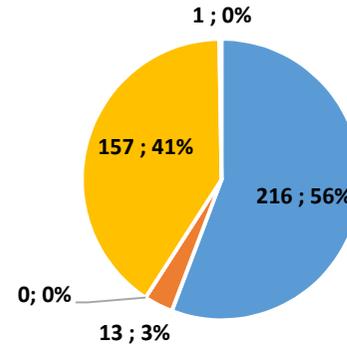


(注) ・ 国際道路交通事故データベース(IRTAD)資料による。
・ 死者数の定義は事故発生後30日以内の死者である。

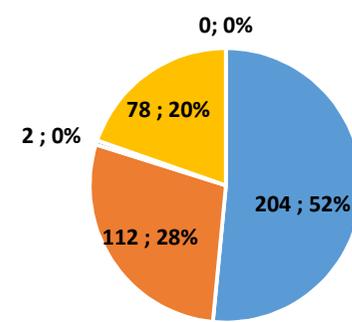
未就学児及び小学生の交通事故死者数の推移



未就学児の状態別死者数
(平成20~30年合計)



小学生の状態別死者数
(平成20~30年合計)



■ 歩行中 ■ 自転車乗用中 ■ 二輪車乗用中 ■ 自動車乗用中 ■ その他

子供の交通事故対策の現状（1 / 2）

通学路の交通安全の確保

- 関係省庁と連携し、通学路における交通安全の確保に向けた緊急合同点検を実施（H24.5～25.8）。
- **警察による対策**が必要な箇所（19,715箇所）については、**H29年度末までに99.9%**（19,687箇所）**において対策を実施済み。**

【警察による通学路の交通安全対策のイメージ】



【交通指導取締り】

- 通行禁止違反等の取締り
- 交通監視活動

【交通安全教育】

- 交通安全講話
- 模擬信号機等を用いた道路横断等訓練
- 歩行者シミュレーターを用いた横断訓練
- 通学路における街頭指導 etc.

ゾーン30の整備

- 生活道路における安全を確保するため、道路管理者と連携して「ゾーン30」を整備。
- 平成30年度末までに、**3,649か所**で整備済み。



その他の施策

- 保護者や民間ボランティア等により、**子供の見守り活動を実施。**
- 生活道路・通学路における重大交通事故の抑止等のため、**可搬式速度違反自動取締装置の整備を推進。**

【見守り活動の例】



【可搬式速度違反自動取締装置】



子供の交通事故対策の現状（2 / 2）

子供に対する交通安全教育

- 小学生の歩行中死者・重傷者では1年生が最も多いことを踏まえ、新入学を控えた幼児と保護者を対象に基本的な交通ルール等に関する教育を実施。
- 校庭等に模擬コースを設置するなどして、児童が普段利用している自転車を利用し、正しい自転車の通行方法等を理解させる教育を実施。

【入学前幼児への安全教育の例】



【自転車安全教室の例】



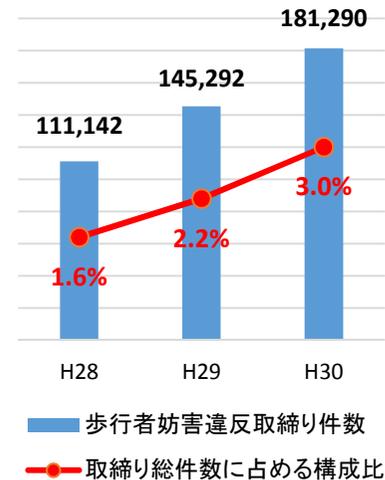
【広報啓発の例】

広報啓発・指導取締り

- 小学生の歩行中死者・重傷者の約4割は飛び出しが原因であることを踏まえ、車の横断歩道での一時停止等の歩行者優先ルール徹底のための広報啓発・指導取締りを実施。



全国における歩行者妨害違反の取締り状況の推移



今後の対策の方向性

これまでの対応

- 本年5月8日、滋賀県大津市での保育園児等が被害者となる交通事故が発生
- 応急対策として、都道府県警察において、関係機関と連携し、これまでに子供が当事者となる交通事故が発生した箇所と同様の道路環境がないか、子供の安全を図る対策が必要ではないかなどについて、確認・検討するよう指示(5月13日)。

今後の予定

- 子供の交通安全について、取り得る対策を検討し、可能なことから早急に取り組む必要があることから、未就学の子供が集団で日常的に移動する経路の安全等について関係省庁連携して取り組む予定。